



## お江戸舟遊び瓦版 1127号

水彩都市江東 ころろ美しい日本の再生 安全・安心まちづくり

お江戸観光エコシティ・お江戸舟遊びの会 江東区千田 13-10

## 江東区議会傍聴

## 「新庁舎防災建設計画」に注目！！

はじめに：第3回本会議を傍聴した。

- 9/17 本会議 10/3 企画総務委員会、  
10/7 厚生委員会 10/8 建設委員会、  
10/15 新庁舎建設特別委員会委員会  
10/16 防災まちづくり委員会、  
10/17 医療・介護・高齢者支援特別委員会  
10/22 本会議

## 《注目された点、質疑等》

## 9/17 本会議

- ・大久保区長：令和6年決算は入3701億円、出3601億円だった。災害に強いまちづくりを目指す。長期計画に沿い、こどもまん中、子育てベースに、住みよい江東区をつくり上げたい。
- ・正保：納税者の4割が200万円以下の生活、区の貯蓄を活用し支えるべきと思う。新庁舎は690億円と聞く、人口95万人の世田谷区の新庁舎建設430億円に比較しあまりにも高い。

## 10/3 企画総務委員会

- ・パートナーシップ制度等に関する陳情は、江東区版パートナーシップ制度ができ取り下げられたが、課題も多く、今後の対応が必要。

## 10/7 厚生委員会

- ・化学物質、電磁波問題、障害者支援、ワクチン問題、特養ホーム、児童館、給食への有機食材導入問題、日常生活自立支援、保育士問題等の多数の陳情と、ヤングケアラー周知シンポジウム等々課題が多く、特に保育士、訪問介護士不足が大きな課題で、抜本的な検討対策が必要と指摘された。保育園の定員割れ問題、子育て支援団体への助成を求める陳情の議論が続いた。

## 10/8 建設委員会 + 10/16 防災まちづくり委員会

- ・亀戸-新木場LRT構想など交通問題の陳情審議が続く中、「江東区千石3丁目のデータセンター建設に関する陳情」に関し長時間審議が続いた。  
@：江東区大規模建設計画・データセンター建設方針で、浸水・放熱対策等について業者が住民に十分説明するよう指導している。

N:住民と業者の間が上手くいっているのか？

@判りやすく説明するよう指導している。

N:千石地区まちづくり計画と本事業は整合性がとれていない。区がリードすべきではないか。

@今後とも住民に寄り添った対応をしていく。

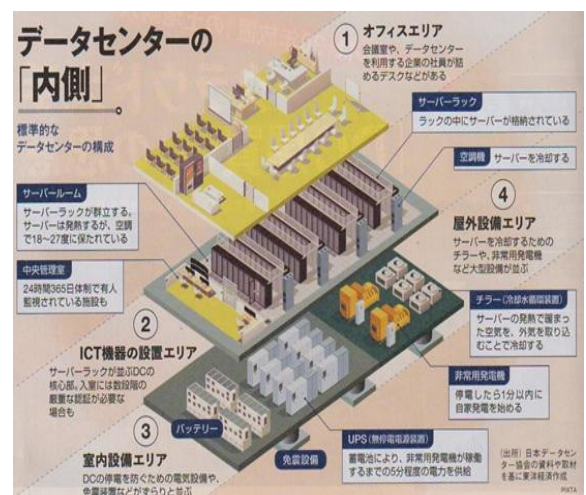
Na:先行している塩浜地区では少し調整が進んでいると聞くが？@説明を重ね一歩進んでいる。

Na:千石にも説明が必要だ。千石まちづくりの観点からもマイナス要因は排除すべき。

@千石まちづくりとの整合性の検討を続ける。(注：@は 区の説明)

I:実際の影響不明のまま建設するのは問題だ？ @都の承認工事で、区は住民に寄り添っている。

- ・長い質疑が続いたが、前回以降の進展が見えなかった。



## 10/15 新庁舎建設特別委員会

○新庁舎建設計画の見直しを求める陳情

④東陽町駅周辺の敷地に見直すべきだというのが、適地がないので対応できない。時間もない。

○導入機能の検討状況についての区の報告

④新庁舎建設基本計画の策定に向け、各導入機能別の専門部会で検討を行い、庁舎検討段階における整備の方向性を整理し、他地区の例を検討し、良いとこどりの計画になった。  
・導入機能別のあるべき姿として、**防災・交流・協働、性能（環境性能）の3本柱**に。

①**防災**：防災に対して最大限配慮した計画。

・災害対策本部の機能を確実に実行。ライフライン途絶時にも十分なバックアップ。

・リアルタイムでの災害情報収集、本部室の設置、空間の充実、関係機関との連携強化、職員用備蓄の確保、将来の災害に耐えうる建物。

②**交流・協働**：区民の憩いや交流、活動を支える場、区民の活動や区の魅力、PR情報発信の場、「江東区らしさ」である水や緑が豊かな空間創出。新しい文化センターとの機能整理。

③**性能（環境性能）**：省エネルギー性能の庁舎

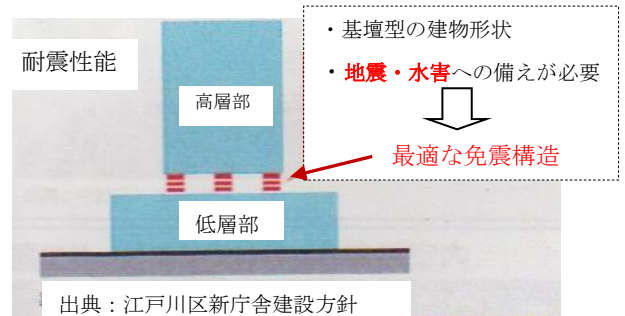
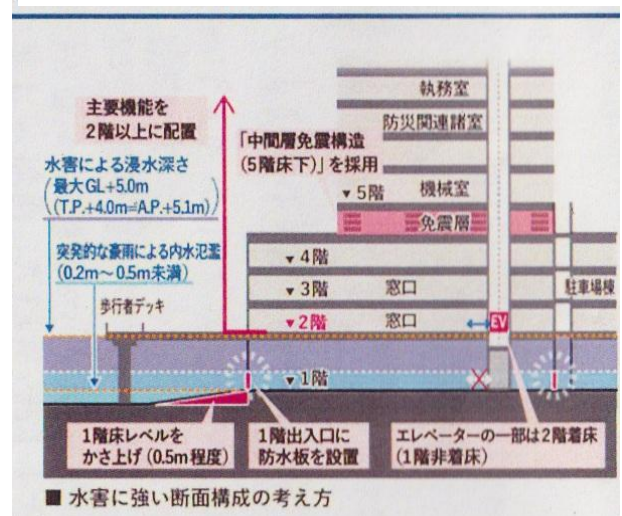
・区のゼロカーボンを先導する高い環境性能

④**性能（耐震性能）**：耐震性構造体、地震時の人命確保、部材の耐震性、設備機器の耐震性対策。隣接区の江戸川新庁舎が参考になる。

⑤**性能（アクセシビリティ）**

・人々が利用しやすいアクセシビリティ

（参考）課題共通の江戸川区新庁舎建設計画



## 10/16 防災・まちづくり対策特別委員会

・江東区のすべての地下鉄に浸水安全対策を求める陳情、防災対策のさらなる充実を求める陳情、江東区総合防災訓練に「水害避難訓練」の追加を求める3陳情については継続審議となった。

・(仮称)大島4丁目エリアまちづくり方針(素案)

S：住民は、今後も住みたいと考えている人が多く、建設工事の中身が知らされていない。

④URの計画で、区は丁寧な説明会などを指導する。URからは段階的に整備すると聞いている。

S：浸水対応型まちづくりについては良く判らない。理解できない。

## 10/17 医療・介護・高齢者支援特別委員会：多くの多様な陳情について略継続審議となった。

### 《検討課題》

① **新庁舎防災計画**：新庁舎建設では江東区の**水害対策が最大課題**ということが認識された計画で、検討には隣接区の江戸川区新庁舎建設方針が参考とされているなど評価したい。

④今後は、新庁舎の防災だけではなく、周辺**住民の生命の安全を大切に**した**江東区マイナス地域防災計画に拡大した修正案**にして頂く必要性を痛感する。

② **DC・データセンター建設**：許認可は都であり、区は詳細な情報は得ていないようだ。大規模マンションの隣接、荒川氾濫浸水の危険性が高い、**液状化地域**に、AI推進のために多大な放熱など問題の多い事業を建設することは全く不合理で、住民に寄り添った対応が必要だ。

所感：南海トラフ地震に結び付きそうな**トカラ列島地震等**、災害列島を痛感させられる今日。直近にも襲来しそうな**荒川氾濫対策**が今ほど必要な時はない。今後は、区民の生命を最優先に、誰ひとり取り残さない、**安心安全な江東区・地域社会づくり**を**住民が自分事として**進めて行かねばならない。自分の足元で「**人権・民主主義・法の支配**」実現への取り組みが必要だ。(文責 中瀬)